

議会だより

12月定例会

- 2 医療費助成の年齢拡大
- 4 一般質問 7議員が町政を質す ただ
- 11 議員報酬は現在の額を据え置き
- 12 総務教育
産業福祉 常任委員会行政調査報告
- 16 成人式実行委員の皆さんに聞きました

医療費助成の年齢拡大

4月から現行15歳を18歳に



4月から高校生も医療費助成の対象に（岩美高校）

12月定例会を、12月15日から17日までの3日間の会期で開きました。
 一般会計補正予算など7議案（追加1議案）を、町長提案どおり可決しました。
 また、選挙管理委員会委員・同補充員の選挙も行いました。

主な議案の概要

一般会計補正予算

1億167万円を増額し、予算総額を66億6831万円としました。

歳出の主なもの

情報化推進事業費

650万円増額
 マイナンバー制度の導入にともなう中間サーバーへの負担金。全額国庫補助金を受ける。

瑞風受入推進事業費

70万円増額
 トワイライトエクスプレス瑞風が29年春から東浜駅に停車する。
 東浜の海岸線にある老朽施設を撤去するための設計を実施する。

バス停留所整備事業費

350万円増額
 サンマート前のバス停に上屋を設置する。

環境衛生費

79万円増額
 不法投棄の抑止、投棄者の特定のため、不法投棄多発箇所（大岩駅裏待避所）に監視カメラシステムを設置する。

水産業振興費

205万円増額
 沖合底びき網漁業にたずさわる船員の、緊急事態対応用AED整備を支援する。



沖合底びき漁船の船内作業の様子

特別医療費助成条例の改正

子育ての経済的負担を軽減し、子育てを支援するため、県が医療費助成の対象年齢を現行の15歳から18歳まで拡大した。
 これを受け、本町も28年4月1日から、18歳に達する日以後の最初の3月31日まで助成対象を拡大する。

個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の設定

28年1月1日から、役場内の各課及び教育委員会が特定個人情報（個人番号を含む個人情報のごと）を業務に使用するためのルールを定める。

新年のごあいさつ



町民の皆さま、あけましておめでとうございます。輝かしい

新春の幕開けを迎えるにあたり、議会を代表してごあいさつを申し上げます。

昨年の本町を振り返ると、明るい話題が多かった年でした。

道の駅「きなんせ岩美」が盛大にオープンし、現在、お客様も順調においでいただいているということであり、この道の駅が多くの町民に親しまれ、本町の農業、漁業の活性化につながっていくことを願っています。

また、平成29年春にJR西日本が運行する「トワイライトエクスプレス瑞風」が東浜駅に停車することが決定しました。このことは、本町の環境の素晴らしさが認められ、守ってきた先人たちの努力の賜物でありますし、全国に岩美町をPRができる、大変喜ばしいこ

議長 船木 祥一

とであります。

さて、昨年から全国的に地方創生への取り組みが始まりました。本町は全国に先駆け、9月には地域創生総合戦略を策定しました。

その内容は、人口減少を最小限に止め、2040年には人口9千人とし、「チャレンジする若者が集うまち」をめざして、若者の定住に向けた施策を展開しています。

議会としても、少子高齢化・人口減少という厳しい環境に歯止めをかけ、政策を調査研究し、執行部へ政策提言ができるよう、現在、議論を進めています。

我々は、町勢の発展と町民の福祉の向上のため、皆さまの負託に応えるべく、まちづくりに取り組んでいく所存であります。引き続き、皆様のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

本年が皆さまにとりまして良い年となることを祈念いたします。

町税条例の改正

マイナンバー制度が28年1月1日から運用開始されることに伴い、法人が町税を納付する際に納付書及び納入書に法人番号を記載するように町税条例を改正した(27年5月臨時議会)。

その後、総務省の再検討の結果、法人の事務負担の軽減を図るため、当面の間、法人番号を記載しないことにする。

病院事業会計補正予算

MR装置、エックス線テレビ装置、マンモグラフィーなど医療機器の高額修繕、空調設備、配管設備などの修繕があったため、修繕費を328万円増額する。

その財源として、入院患者増により増加が見込まれる医業収益を348万円増額する。

12月定例会可決・承認された議案一覧 (すべて全会一致)

議案名
議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部改正(専決処分)
個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の設定
税条例等の一部改正条例の一部改正
特別医療費助成条例の一部改正
平成27年度一般会計補正予算(第3号)
平成27年度病院事業会計補正予算(第2号)
教育委員会委員の任命

人事

教育委員会委員の任命に同意しました。

戸田 倫弘 (鳥取市)

選挙管理委員会委員・同補充員を選挙しました。

委員

小原 大忍 (陸上)

西村 善野 (岩本)

山崎 淑子 (恩志)

山下 清 (延興寺)

補充員

中島 隆敏 (岩井)

山下 正己 (網代)

山根 みち子 (田後)

西垣 聡史 (浦富) (敬称略)

集落排水の公共下水道への 接続は地元説明を

杉村 宏議員

現段階は議会と相談して
いききたい

榎本町長



杉村 宏議員

経営状況、処理能力と処理の実態、集落排水処理施設への未接続者の公共下水道への接続の見込みなどをふまえた、下水道会計の改革も検討が必要だ。

不確定要素がある段階で、明記することは、住民の理解が得られないと考えている。

【杉村】 地元に対しては、町が検討したいと考えている内容を理解してもらいながら進めてほしい。

【町長】 過疎自立計画は議会の議決が必要であり、議会としっかりと相談させていただきたい。

シーカヤック体験者に安全 ルールの徹底を

杉村 宏議員

関係団体と協議し取り
組む

榎本町長

【杉村】 網代旧港の利用の際、地元漁業者との支障は生じていないか。

【町長】 協議会参加団体からは、トラブルは起きなかったと聞いている。

漁業協同組合の仲介でイカ釣り船、船外機船や潜水の団体、自治会と協議し、安全管理などのルールを作った。

【杉村】 安全管理のルールを地元とも協議し作ったということであるが、個人で来られる方にも周知をする考えはないか。

【町長】 人数が増えればルールが全部に徹底できるかどうかは、町も漁業者も危惧するところである。立て看板を設置してルールの徹底を図ることを関係団体と協議し取り組んでいく。

【杉村】 第2次過疎地域自立促進計画（案）では、集落排水処理施設の公共下水道への接続に向けた検討、調査を行うと記されている。

残りの集落排水と公共下水道は、東漁業集落排水処理施設、長谷・白地農業集落排水処理施設と公共下水道浦富処理区、東、長谷・白地の浦富への接続検討すると明記していないのはなぜか。

【町長】 公共下水道処理施設が2施設、集落排水処理施設が2施設ある。各施設にそれぞれ経過があり、課題もある。



長谷・白地処理場



シーカヤックで浦富海岸を満喫（千貫松島）

その他質問事項

県道改良に伴う町道等の整備について
岩井温泉の振興について

空き家の活用方法を示せ

澤 治樹議員

他町の事例も参考にしながら進める

榎本町長



澤 治樹議員

澤 自治体が住居以外で空き家を活用するには、持ち主の理解が必要になる。

空き家の持ち主に安心、信頼してもらうためには、活用方法を示す必要がある。

空き家の活用方法を伺う。

町長 住居以外の空き家の活用事例としては、店舗兼住宅とか、シェアハウスに取り組もうとしている。
積極的に他町の事例も参考にしながら、取り組んでいきたい。



東京で開かれた岩美町の移住・交流フェアは満員

澤 移住問題を特に重視しなければいけないと思う。

澤 活国交省が空家対策特別措置法を制定し、市町村の空き家対策に法的根拠を与えた。本町においても、倒壊や景観を損なう空き家が増えている。

町長 地域創生室が中核になって、移住者を全面的に案内していく体制を確立したい。

* 特定空き家に対してどう対応するのか。

町長 特定空き家を指定するには、判定をする組織が必要だ。28年度中には、空き家の実態把握と共に、条例を作りたい。

※特定空き家とは

次のような状態の空き家をいう。
倒壊など著しく危険となるおそれのある状態。
著しく衛生上有害となるおそれのある状態。
適切な管理が行われていないことにより著しく景観を損なっている状態。
その他周辺の生活環境の保全を図るために放置することが不適切である状態。

瑞風の停車は観光振興のチャンスだ

澤 治樹議員

町挙げて取り組み発展につなげたい

榎本町長



役場に掲げられた瑞風の懸垂幕

澤 29年の春に運行開始予定のトワイライトエクスプレス瑞風が、東浜駅に停車することが決まった。

浦富海岸の海水浴客や、岩井温泉周辺の観光客数が減少した町にとっては、千載一遇のチャンスだと思つ。

町長 瑞風が3時間も停車することは、全国に知れ渡ることになり、岩美町の知名度が格段に上がると思う。町を挙げてのPRをさらに推進していく必要がある。

観光客のニーズに合ったおもてなしの体制づくりをすれば、さらに発展が望めると思う。

読書通帳を導入せよ

芝岡みどり議員

県立図書館が発行したものを配布したい

寺西教育長



芝岡みどり議員

芝岡 新たな利用者を増やすための取り組みは。

教育長 市民の読書意欲を高める取り組みを行っている。

映画会、読書フォーラムなどのイベントを防災無線を通じ周知している。また、町ホームページから検索できるシステムや3歳・5歳児定期健診に合わせ、絵本をプレゼントするブックスタート。近隣の3町と図書館相互利用協定で、町外の本でも借りられることなどをもちと広報していく。

芝岡 読書意欲を高めるため、読書通帳を導入してはどうか。

教育長 県立図書館が10月から発行したものを希望者に無償配布したい。

芝岡 30年度建て替えられる中央公民館とともに新設される図書館をどのように描いているか。



本の貸出しの様子（町立図書館）

教育長 まちづくり、ひとつくりに貢献できる図書館でありたいと思っている。

成人用肺炎球菌予防接種の周知を図れ

芝岡みどり議員

定期接種のさらなる周知に努めたい

榎本町長

芝岡 肺炎球菌ワクチンの接種効果はどうか。

町長 肺炎は、肺炎球菌だけが原因ではなく、誤えんなどさまざまな理由で引き起こされる。効果は、接種5年は抗体が持続するが、徐々に低下する。

芝岡 26年10月より、ワクチン接種が任意接種から定期接種となった。

定期接種の対象者は、各年度内に65歳から100歳までの5歳刻みの節目年齢に該当する方で、2000円の負担で予防

接種が受けられるようになったが、何回でも受けられるのか。

健康対策課長 予防接種法では、対象年齢に1回となっている。

2回目以降は、任意接種となり、全額自己負担となる。

芝岡 任意接種から定期接種となり、接種率はどうなったか。

町長 26年度の定期予防接種は、65歳、70歳の方で56・1パーセント、75歳から100歳までの5

歳刻みの方では56・5パーセントでこれまでの任意接種とほぼ同率であった。

芝岡 5年に一度の貴重な機会だ。

逃してしまわないよう、周知が必要ではないか。

町長 この定期接種は、30年度までとされている。町広報などで周知を図っていく。

その他質問事項

総合戦略で描く本町の未来像について

橋梁の点検は十分か

川口耕司議員

定期点検し、緊急的なものから修繕する 榎本町長



川口耕司議員

川口 橋は、点検・予防的な修繕が必要だ。

それが橋梁寿命を延ばし、大規模な修繕やかえの費用を減らし、結局は効果的な財政運営につながる。

橋梁の計画的な予防保全はどうか。

橋長15メートル以上は40橋だが、15メートル以下の橋や林道も含め数は幾らか。

町長 町道では2001、農道は9、林道は5橋で、全体で215だ。

川口 この215橋は町が直接管理をしているか。



修繕が終わった吉田橋（牧谷）

川口 橋梁の通常点検や定期点検は、誰がどのように実施しているか。

町長 23年に、15メートル以上の橋梁について長寿命化計画を策定し、5年ごとに見直しをしている。

26年には2メートル以上の橋も含んだ点検を行った。



修繕予定の塩谷橋

川口 点検結果に基づいての修繕計画はどうか。

町長 全体が2001で、15メートル以上が40橋、15メートル以下2メートル以上が161だ。

161橋は、健全が33橋、予防保全段階が79橋、早期措置段階が49橋、緊急措置段階はゼロ。49橋のうち、特に処置を講ずべきものが7橋あり、28年度中に修繕を終えたい。

コンサルタント会社に委託し、技術者が目視で、さび、腐食を調査した。

日常的な通常点検は、役場職員が維持改良を含め道路パトロールで点検している。

林道は森林管理巡視業務の中で年に一回、農道は、農家などの皆さんに異常などを報告いただき、県の応援も得て、町も点検している。

川口 他県で橋桁落下を防ぐ装置に溶接不良が見つかったことを受け、県は調査を行うが、町はどのような対応をしているか。

町長 落橋防止装置が設置されている橋梁は、新陸上橋のみで、経年による腐食、膨張はあるが、すぐ補修する必要はない。

人間ドックの自己負担軽減を

田中伸吾議員

年次的に見直していきたい

榎本町長



田中伸吾議員

田中 1万6000円で、連続して受診できるが、もう少し、自己負担が少なくなるように、できないか。

田中 成人病の、早期発見や予防のため、人間ドックは有効だと考える。募集期間が1ヶ月間と短い、募集の状況はどうか。

町長 人間ドックの募集期間は、年間を通しての岩美病院のドックの曜日、医局の配置などの、診療計画づくりのため、4月に行っている。

22年度からは、年間250人、26年度から、続けて受診できることになったため、281人受診した。

診察する1人当たりの時間、それにかかわるスタッフなどの問題がある。対象者は、①血縁者にも膜下出血を含む脳卒中の方がいる、②今まで町のドックを受けていない、③ペースメーカーを入れていない、④脳に心配がある症状を持っているという、4つすべてに該当する人だ。

田中 人間ドックと、脳ドックをあわせて、受診できないか。

町長 病院と担当課で、十分に議論をさせ、取り組めるといふことになれば、お知らせしたい。

町長 人間ドックの受診には、1人あたり3万9662円から5万20018円かかる。負担を軽減し、できるだけ多くの方に、受診してもらいたいと思い、1回目は8000円、2回目は1万6000円としているが、年次的に見直しをかけた。

田中 脳ドックは、どれくらいの人数が申し込んでいるか。

町長 26年度が38人、27年度は、37人が受診予定だ。

聞いて話せる英語教育に

田中伸吾議員

小学校の英語学習を機会としたい

榎本町長

田中 3年度から、延べ13人の、外国語指導助手を、小中学校に配置してきたが、どのような成果があったか。

教育長 中学校の学習が中心だが、各小学校の5、6年生が外国語活動に取り組んでいる。英会話に対する意欲、

子どもたちが自然に、先生と交流しているのが、最大の成果だ。

田中 視察先では小学校1年生から英語授業を行っている。

もう少し年齢層を下げ、聞いて話せる英語教育に取り組んではどうか。

町長 30年度には、小学校3年生から英語学習が始まる。

職員の負担や予算のこともあるが、英語に対する取り組みも、積極的に進めていきたい。



メイプル先生の授業の様子（岩美北小）

ジェネリック医薬品をもっと勧めよ

日出嶋香代子議員

しっかりと審査し、提供している

平井病院事業管理者



日出嶋香代子議員

日出嶋 ジェネリック医薬品の説明をしっかりと行い、希望する患者さんには、ジェネリック医薬品を勧める必要があると思うが。

日出嶋 ジェネリック医薬品の価格は、新薬の約50パーセントから60パーセントと言われている。この医薬品を使用すると、患者さんの負担軽減となる。

ジェネリック医薬品の処方ほどの程度か。

病院事業管理者 岩美病院で使っている薬が900近くある。

その半分ぐらいが、後発医薬品のない先発医薬品だ。

残りの400医薬品は後発医薬品があり、その中で実際に使用しているのは、4分の1だ。

ロングトレイルにどう取り組みむか

日出嶋香代子議員

県・市と連携して進める

榎本町長

日出嶋 山陰海岸ジオパークトレイル協議会が今年7月に設立された。

榎本 ※ロングトレイルは、山陰海岸の美しい自然を皆様に楽しんでいただき、



11月7日実施されたロングトレイル（鴨ヶ磯）

地域の活性化や観光客の誘致につながることを目的としている。

町がすること、観光協会がすることは何か。

11月7・8日行われたBE・PALという専門雑誌の業者が主催した東浜から網代まで13キロメートルのロングトレイルとキャンプに、町と観光協会はどう取り組んだのか。

町長 町や観光協会が何をしなければいけないというものではない。事務局は鳥取市の観光コンベンション協会が受け持つ予定だ。町にとっても、ロングトレイルの全国コースの中に入れていくことは大変有意義なことで、県・市と連携をとりながら進めていきたい。

商工観光課長 このロングトレイルの取り組みは県がBE・PALに委託して、東浜で1泊2日で行った事業だ。

町長 ロングトレイルは日本ロングトレイル協会ができており、正会員が10団体ある。

山岳の尾根づたいや、内陸が中心となっているコースの中で、海岸をロングトレイルするのは、初めてのことになるという意気込みで始めている。町も、トレイルで観光客を受け入れる良いチャンスと捉えている。

日出嶋 ロングトレイルは町のホームページや、観光協会が大きくかかわ

※ロングトレイルとは
自然や文化を楽しみながら、山や街道を長距離歩く旅のことです。

子どもの医療費、給食費を無料にせよ

田中克美議員

全額助成は困難だ

榎本町長



田中克美議員

田中 若者の移住、定住対策で成果を上げている自治体は、思い切った施策をやっている。子どもの医療費助成の自己負担分を町独自に助成することの検討を求める。

町長 自己負担分をなくすることは、保険の制度に国の関わりが必要なのか、地方の負担をもっと増やせという方向になることを危惧する。

田中 学校給食費を無料にしている自治体が、全国に18市町村ある。給食費を無料にすることは、できないか。



給食の様子（岩美北小）

町長 行政としてやってはならない部分もあると思う。

人口を減らさないという点からも、給食費無料

政策判断の方が大きいウエイトを占めるものだと考えている。

田中 兵庫県相生市は23年に、「子育て応援都市」を宣言し、給食費無料を目玉施策として実施した。転入者が転出者を上回ってきた。

化を検討してほしい。
町長 子育て支援として検討したが、全額助成というのは難しい。

学校給食の制度のなかで保護者の役割、社会の役割の両方を守っていく必要がある。

マイナンバーは個人情報にとって危険だ

田中克美議員

すべての情報が盛り込まれることはない

榎本町長

田中 マイナンバー制度の事務で最も重要な個人番号の付番と通知カード、番号カードの交付が法定受託事務とされた。

自治事務として自治体独自の判断ができた住基ネットと違い、マイナンバー制度については、独自判断に基づく選択はできない。

町長 マイナンバー制度については、社会基盤を地方と国でつくっていくということ、法定受託事務という扱いになったと思う。

田中 全国2カ所に設置された中間サーバーに、全自治体が参加せざるを得ない。

住民の個人情報を適正に管理する責務を負っている町が、警察から提供を求められた場合、独自の判断ができるか。

町長 文書で照会が来ると思うが、適法と判断すれば提供する。直接のアクセスはないと思う。

田中 個人情報の保護は、国からの自由ということが出発点にある。ところが、国が個人情報を利用する権限を保障

する形になっている。マイナンバー制度は、情報の対象を広げることが議論されている。危険な状況を生じかねない制度だと認識することが必要だ。

町長 マイナンバーは住民基本台帳の補完的役割であり、情報は限られている。

将来、民間に拡大することについては、慎重にならざるを得ない。すべての個人の権利に関わる情報が盛り込まれることはないと思っている。

議員報酬は現在の額を据え置き

特別職報酬等審議会が答申

特別職報酬等審議会は27年11月16日、町特別職の給与と議員報酬について、答申を提出しました。議員報酬と期末手当の支給月数についての答申内容は次のとおりです。

1 議員報酬の額は、現在の報酬額を据え置きとすべきである。

2 期末手当の支給月数は、年間3・20月分は改定すべきである。

3 実施時期は27年4月1日とする。

理由

現状

①議会議員の報酬
議会議員の報酬についても、特別職給与と同じく改定されていない。18年から定数削減を実施しているが、報酬は据え置きとされている。

②期末手当について
特別職の期末手当は、

議員の期末手当と連動し上下していたが、現在は連動していない。21年度から年間2・75月分となっている。

他の多くの自治体は、「特別職の職員の給与に関する法律」に準拠しており、それによると26年度は年間3・10月分となっている。

議員の活動

議員の公務日数は、年間約80日であるが、これは議会に直接関わる公務の日数であり、議員が地元等で行う活動は含まれていない。また、政務活動費が支給されないこともあり、活動の報告義務もなく、公務外の議員活動の現状は分からなかった。

審議結果

議員報酬

27年度の人事院勧告は、27年8月6日、人事院は、月例給0・4パーセントの引上げと勤勉手当の0・1月分引上げを勧告した。

特別職給与と同様に算出することが妥当であり、特別職と同様4・59パーセント減額とすべきとの意見があったが、議員定数削減時に報酬改定を見送っていることや、定数削減により議員一人の業務と責任が増加していることを鑑み、現在の議員活動を保障する面からも現状維持とした。

期末手当

多くの自治体が準拠している「特別職の職員の給与に関する法律」は、例年人事院勧告で期末手当の改定があった場合、同様に改正されている。

今年度の人事院勧告は0・1月分引上げとされており、例年同様「特別職の職員の給与に関する法律」が改正されると仮定し、年間3・20月分の答申額とした。

請願・陳情審査結果

件名	結果	賛否の状況	不採択理由
請願書 提出者：鳥取県鳥取市西品治 105-26 鳥取民主商工会婦人部 部長 青木二三子 紹介議員：田中克美	不採択	(賛成) 杉村宏、 日出嶋香代子、 田中克美	国税に関することは、国が責任をもって判断すべきである。
「合特法」に基づく「代替業務」の陳情について 提出者：岩美町大字高山 62番地 1 協同組合岩美町環境事業公社 理事長 田中清一ほか2名	不採択	全会一致	一の陳情者は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律の規定により、23年4月から28年3月までの5年間、一般廃棄物収集運搬業の許可を取り消され、現在取り消し期間中にある者であり、他の陳情者は、一般廃棄物収集運搬業の許可を受けていない者であり、「合特法」が規定する業者に該当しない。
「合理化事業計画」の策定についての陳情書 提出者：同上	不採択	全会一致	上記の陳情で述べた理由に加えて、町は、し尿収集を安定的に行うための計画である一般廃棄物処理計画を毎年策定しており、廃棄物処理行政を円滑に実施している。

総務教育常任委員会

「教育の町」づくり実現に向けた施策、乳幼児期からの小・中学校への一貫した子育て支援策の調査

調査日 27年10月28日
調査先 長野県富士見町

目的

24年度より「教育の町」づくりに着手。中学生を対象とした無料塾の開校、「家庭学習の手引き」の作成、小学校1年生からの英語の授業導入、教育未来会議の開催など、すべての子どもに確かな学力を保障するためのさまざまな取り組みをされている。



富士見町

また、教育委員会に子ども課子ども支援係を設け、乳幼児期から小・中学校への一貫した子育て支援策を取入れている。取り組みに至る経過とその状況を調査する。

調査の項目

- ▽地域ぐるみで子ども育て、地域も元気になる仕組みづくり
- ▽子どもたちの確かな学力向上をめざした取り組み
- ▽子どもをのびのびと育てる環境づくり
- ▽学びつつけるまちについて

まとめ

富士見町が進める教育の町は、地域ぐるみで子どもを育て、地域も元気になる仕組みづくりにあった。そのキーワードを『つなげる』とし、町がコーディネーターを配置し、保育園・学校・保護者・地域とのパイプ役となり互恵関係を深め、地

域の絆、ネットワークづくりなどがなされていた。また幼児教育から就学時教育を一貫し教育委員会子ども課で所管していた。本町では保育所から小学校へ、小学校から中学校へと一貫した教育支援を繋げるスクラム教育に取り組んでいる。

また「信州型コミュニケーションにおける「特色ある学校づくり事業」と類似しており、『まちづくりは人づくり』を教育の根幹とする本町の取り組みと共通点が多かった。特に関心を寄せた取り組みは、小学校1年生からの英語教育であった。24年度からの取り組みで、独自の英語力育成指導により、英語が確実に子どもたち、地域に根付いているとのこと。またアクティブラーニングの推進や外部講師による指導など「子どもたちに確かな学力」を身に付ける教育が先進的に取り組まれている。

交流事業、地域資源を活かした観光振興策の調査

調査日 27年10月29日
調査先 長野県安曇野市



安曇野市

目的

武蔵野市との交流をはじめとする多彩な交流事業を通して、「交流人口の増加」を生み出し、観光客誘致、移住・定住人口増加に繋がる成果を上げている。

キーワード「交流人口の増加」の成功に導く

地域資源の活かし方・視点を調査し、本町の観光振興や移住・定住に向けた取り組みの参考とする。

調査の項目

- ▽武蔵野市との交流事業について
- ▽地域資源を生かした観光振興策について

まとめ

平成の合併後10年を迎えた安曇野市は、活性化のキーワードに「交流人口の増加」を掲げ、合併以前からの交流を引き継いで、武蔵野市のほか6市町と友好都市提携を締結している。

また、民間レベルでの

交流は、26年度においては4事業7回実施しており、交流を通じて豊かな生き方を実現することを理念とした「安曇野暮らしツーリズム5か条」が、観光振興や地域産業の活性化へ繋がっている。

一時増加した。主な観光客は関東圏から30パーセント、中京圏から20パーセント訪れており、ライフスタイルが多様化しつつある昨今においては、サテライトオフィスなどのワーク形態を取り入れた定住・移住者も増えつつある。

これらことから、「ここにしかない」魅力の発信は一方通行だが、交流は、魅力とぬくもりが伝わる双方の「おもてなし」であり、一時的な観光から定住・移住へ導くアイテムの一つであることと、自らが町の魅力を認識することの大切さを改めて感じた。

目的

葛飾北斎美術館を中核とした町並修景整備に取り組み、歴史的景観を活かした町並修景整備に至った経過と第2次・第3次修景整備へと続くまちづくり施策の秘策を調査し、本町の観光振興事業の参考とする。

また、図書館設立に向けた構想理念、完成に至るまでの取り組み経過、管理・運営方法について調査し、本町の図書館建設の参考とする。

調査の項目

▽景観整備とまちづくり施策、観光振興施策について

▽「まちとしょテラソ」構想理念と管理・運営について

まとめ

小布施町は面積19・12平方キロメートルの小さな町であるが、江戸時代後期から、千曲川とこれに沿った大笹街道、山田街道を利用した物産・交易が盛んで経済文化の中

心として栄えていた。

町並修景の取り組みや、まちとしょテラソなどの町づくり事業に、町民が大変積極的であり、寛大で開放的な気質であることが小布施の町づくりに繋がっていると感じた。

なお、役場内に大学の研究所を開設し、専門的意見を事業計画・実践に取り入れており、17年には、景観の研究に優れた実績を持つ東京理科大学と協定締結し、将来を見据えたまちづくり施策の

研究を、更に22年には第2次町並修景事業に向け

ため5年間協定期間を更新。同じく、22年信州大学小布施町地球環境研究室を設け、バイオマス資源の活用や再生エネルギーの研究など、時代のニーズに沿った産・官・学が連携した取り組みをしていた。

本町においても、協働のまちづくりを推進すべくあらゆる場面で広く町民から意見を頂く機会を

設けている。また、鳥取

大学や龍谷大学学生による岩美町の魅力を活かした町づくりの提案や、岩美町地域おこし協力隊、鳥取環境大学学生と共に26年度には定住対策プロジェクト・チームを設置し、定住対策への新たな提案をいただいております、今後も地域の方々、その他あらゆる人材を取り込み一緒に考えていくことが重要であると改めて痛感した。

なお、中央公民館建替えを間近に控え、「まちとしょテラソ」建設計画や取り組み方法と現在の運営状況は、本町の図書館建設に大変興味深いものであり、とても参考となった。

景観整備とまちづくり施策、観光振興施策、町立図書館の構想理念と管理・運営状況の調査

調査日
調査先

27年10月30日
長野県小布施町



小布施町

報告の詳細は
議会ホームページで
<http://www.iwami.gr.jp/>

常任委員会行政調査

産業福祉常任委員会

- ・人口減対策に係る産業施策
- ・若者が子育てするための支援
- ・観光事業と農業の融合

調査日

27年10月28日～30日

目的

昨年5月に公表された日本創成会議の「消滅可能性都市リスト」は、各方面で大きな反響を呼び、人口減少をめぐる本格的な議論を引き起こした。

わが岩美町も、第9次総合計画において町の将来像を示しているところであるが、議会として人口減少時代における町のあり方を改めて調査・研究し、課題を整理する必要性を感じた。

人口減対策に係る産業振興や若者が子育てするための支援策について、宮崎県綾町・西米良村を視察先として選択し、認識を深めることとした。

また、29年春に運行開始予定の「トワイライトエクスプレス瑞風」の東浜駅停車による第一次産



綾町

業の可能性や観光事業と農業との融合などを研究し、議会の役割を認識するため、熊本県阿蘇駅（クルーズトレイン「ななつ星」停車駅、専用レストラン「火星」）の視察も行った。

有機農業でのまちづくり

宮崎県綾町

調査日

27年10月28日

調査の概要

町の基本理念として、照葉樹林都市・綾「大自然の中で生活文化を楽しむ町づくり」を掲げ、本ものをつくる町、手づくりの町、有機農業の町づくりとして、綾町を全国に広く知っていただき、選んでいただける産業観光のまちづくりを推進。農業は、土からの文化



綾町

を追求し、化学肥料、農薬に頼らない健康で安全な自然生態系による農畜産物の生産。工業は、使う人の身になり、心のこもった手づくり工芸品づくりを進めている。

特に9年度、全国に先駆けて取り組み始めた「西米良型ワーキングホリデー制度」は、交流人口拡大や過疎活性化に大きな効果を上げている。

近年、特産のホオズキを生かしたイベントの実践や語り部、花き栽培、山村留学など地域特性を応用した村づくりも注目を集めている。

西米良型ワーキングホリデー

宮崎県西米良村

調査日

27年10月29日

調査の概要

「菊池氏の薫陶・生涯現役元氣村『カリコボーズの休暇村・米良の庄』の整備を進めており、これは交流人口促進による村の活性化を図るとともに、快適な定住地の形成に努めながら魅力ある自然や風土、歴史、文化など地域固有の資源にテーマ性を持たせた地域づくりを推進。

常任委員会行政調査

クルーズトレインななつ星専用レストラン
「火星」

熊本県阿蘇駅

調査日
27年10月30日



西米良村

調査の概要

県内最大の観光地であることを背景に、阿蘇の豊かな自然や特色ある施設を活用した観光振興を進めていくことが望まれている。

JR豊肥本線・阿蘇駅構内にある「レストラン火星」は、週に2回、早朝阿蘇駅に停車する「クルーズトレインななつ星」の乗客が、朝食を食べるためにつくられた専用レストランである。「ななつ星」が停車して

いない時間帯は、乗客でなくても食事（※前菜などはビュッフェスタイルで、メインを地元産の牛豚、鶏から選ぶもの）を楽しむことができる。建屋や店内インテリアのデザインは、「ななつ星」とトータルコーディネートされている。



JR九州「クルーズトレインななつ星」



レストラン「火星」

岩美町として学ぶ点や検討すべき事

町づくり・行政運営のきちんとした考え方を持ち、ぶれることなく貫いていることが、共通している。

加えて、そのスタンスから打ち出す施策は、思い切った内容であることが印象的であった。わが町として掲げる目標を達成するために、人並でない、必要な施策の展開と、町民と地域・集落の知恵と力を発揮して

もらうための、これまで以上の努力が求められている。産業福祉常任委員会としても、町発展と町民生活向上の思いを共通にし、視察で学んだ内容を今後の委員会活動で生かしていくよう努めたい。

報告の詳細は
議会ホームページで
<http://www.iwami.gr.jp/>



成人式実行委員の 皆さんに聞きました



吉澤 直駿さん
(浦富)

新成人の皆さん、おめでとうございます。学校生活をともにした皆さんと一緒に成人を迎えられたことがとても嬉しいです。また、成人式の実行委員という大役をさせていただけてとても光栄です。この「成人」という人生の節目に、将来またこの岩美町、鳥取県に戻ってきて働きたいという思いが確かになりました。その時は、酒でも飲みながら語り合おうで!!それまで、それぞれの場所で頑張ろう。そしていつかまた、ここで会いましょう。



武井 宏仁さん
(浦富)

岩美町は住民との交流が盛んで地域コミュニティが成り立っている町だと思います。隣近所がなにかあったらお互いが心配し、協力する精神があります。私は大学で歴史を学んでいます。その中で岩美町は日露戦争時に漂着したロシア兵の遺体を祀っていた歴史があります。1962年にそのことを顕彰する記念碑が澤田廉三さんによって建てられました。岩美町では昔から他人を敬う気持ちが、今でも継承されていることです。私はそんな岩美町を誇りに思うとともに、岩美町が好きです。



大西 優さん
(大岩)

僕は将来に向けてきちんと計画を立てて実行していくことを今年の抱負にしたいと思います。僕は今年の春から大学3年生となり、就職活動や公務員試験に向けての勉強を始めようになります。また、大学の研究室に配属されることで更に自分のことに費やす時間が制限されるようになります。そういった中でいかに時間を有効活用できるかどうかによって残りの大学生活を楽しめるかが決まってくるので、一つ一つのことを順序立てて計画的に実行するようにしていきたいと思っています。



榎本 一輝さん
(浦富)

僕は岩美町に住んでいてよかったと感じる点がいくつかあります。1つ目に人が優しいことです。僕は小学二年生に鳥取市内から岩美町に引っ越してきたのですが、まず地域の人が登下校中に気さくに話しかけてくださったことを今でも覚えています。そして岩美でできた友達はみんな面白いし今でもよく遊ぶ人が多いです。2つ目に豊かな自然を生かしたたくさんの行事があることです。小学生から中学のときにかけて地引網、浦富健康マラソン、全校海水浴などそのほかにも多くの行事に参加し、それらは思い出に残っています。これから社会人になり、鳥取を離れることになるかもしれませんが、いつかは帰ってきたいと思えるような岩美町がいつまでも続いてほしいと思っています。



菅原 拓朗さん
(浦富)

私は美しい自然があり伝統のあるこの岩美町をとても誇りに思います。山陰海岸ジオパークにも登録された浦富海岸をはじめ、日本三大カキツバタ自生地とされる岩美町唐川の唐川湿原、1200年もの伝統を持つ名湯岩井温泉があります。ほかにも漁獲量日本一の松葉ガニなど新鮮な海の幸に加えマコモダケや地酒の瑞泉などまさに食の宝庫です。この素晴らしい故郷のさらに発展させていくため、少しでも貢献できるような人に成長していきたいと思っています。



坂口 大輝さん
(蒲生)

私にとって2015年は、刺激的な年だった。大学の生活も折り返しに差し掛かり大学の中、バイトなどを通して多くの出会いに恵まれた。同じ夢を持つ友人にも出会い、将来に向けてさらに意欲が高まった。そして今回の実行委員など初めてのことも体験させていただいた。今年はいよいよ就職に向けても本腰を入れる年になるはずなので、自分が得たものを生かしたい。そして人との関わりを大事にしさらに刺激的な年にしたい。



澤 有紀さん
(大岩)

私はいつも人任せで中心となって何かをするのが得意ではなく、そんな自分を変えるきっかけになるのではないかと思います。実行委員になりました。なかなか話が進まなかったり大変でしたが、当日みんなの笑顔がたくさん見ることができ実行委員になって良かったと思いました。今年の4月からずっと夢であった保育士になります。私がここまでこれたのは、家族の支えがあったからです。成人として、社会人として責任と自覚を持ち今まで私に関わり成長させてくださった方々への感謝の気持ちを忘れず頑張っていこうと思います。



議会だより調査特別委員会委員

委員	委員	委員	委員	委員	委員	副委員長	委員長	副議長	議長
寺垣	杉村	宮本	川口	田中	日出嶋	芝岡	田中	柳	船木
智章	純一	耕司	伸吾	香代子	みどり	克美	正敏	祥一	

本冬の冬はいくつ来
るのでしよう。(寺)

過去最高のエルニ
ニヨ現象と、過去最
高の平均気温の高さ
が原因だとか。
換えてしまったス
ノータイヤがもった
いないと思いつながら、
雪かきの大変さを忘
れ、一面緑のゲレン
デをテレビで見たい
ます。

編集後記

おめでとうござ
いませう。今年
の正月は大変良
い天気は例年にな
く。